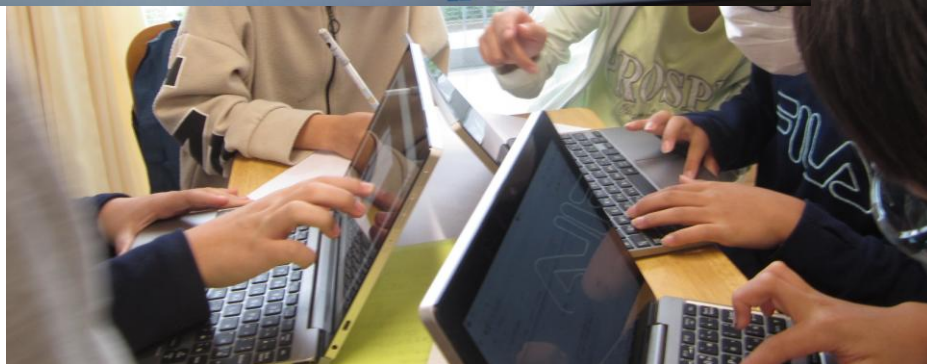
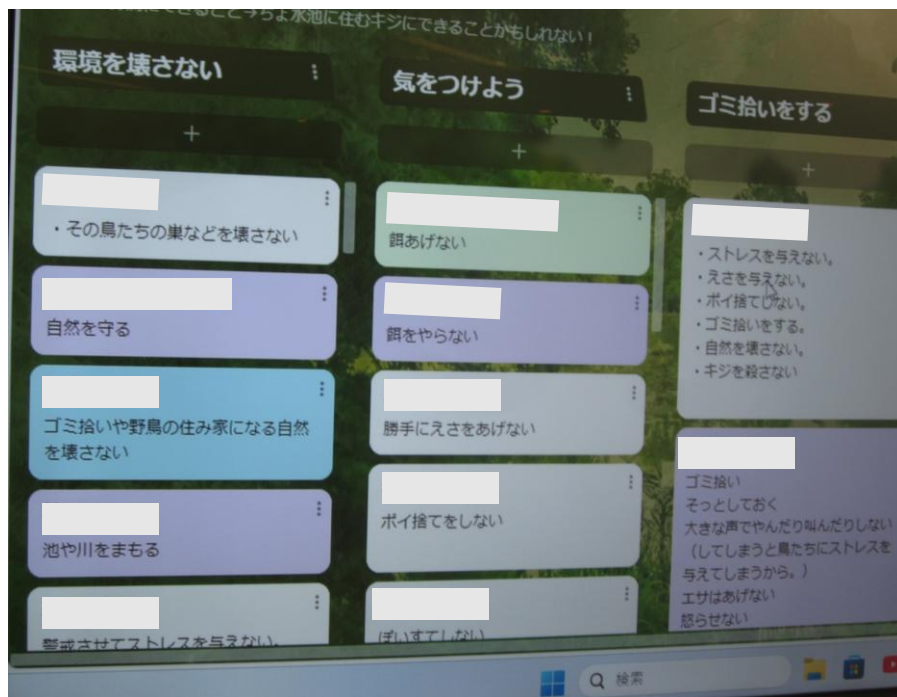


リーディングDXスクール事業【実践事例】

つくば市立研究学園小学校

【取組内容①】 みんなのアイデアを可視化！WEB共有アプリの活用

第5学年 つくばスタイル科「キジ救済大作戦」の活動における実践



【活用方法】

- ・学区内に生息するキジの生育環境を守るためにできることを、一人ひとりが考える。
- ・WEB上の共有アプリを活用し、個人で考えた意見を書き込む。
- ・意見が集まった後、「環境を壊さないためにできること」や「周りへの注意喚起として伝えたいこと」など、カテゴリー分けを行う。
- ・最終的に、自分や他者の意見の中から取り組みたい活動を選び、個人またはグループで具体的なアクションを行う。

【成果】

- ・児童がキジの生育環境について自分事として考え、実践的なアイデアを出せるようになった。
- ・WEB共有アプリを活用することで、他者の意見を視覚的に把握し、考えを深めることができた。

【課題】

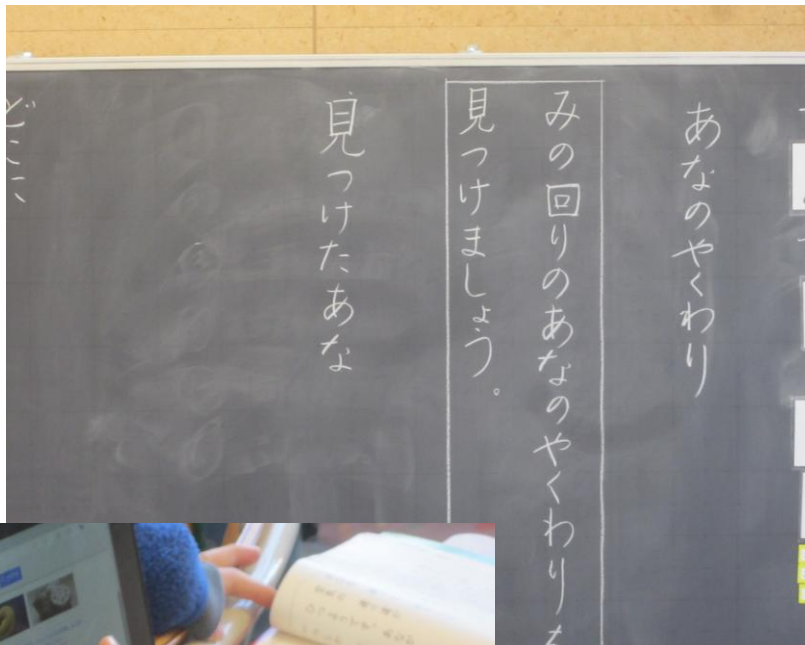
- ・取り組みたい活動を決めた後の継続的な実践が課題。学習後も活動が続けるための仕組み作りが求められる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

つくば市立研究学園小学校

【取組内容②】 WEBを活用した情報収集と気づきの共有

第2学年 国語「あなのやくわり」の学習における実践



【活用方法】

- ・教科書に掲載されている「あなが開いている4つのもの」を、「名前」「穴が開いている場所」「役割」「理由」の観点で整理する。
- ・身の回りにある「あなが開いているもの」を、子ども向けのWeb検索サイトを使用して上記の4つの観点で調べ、まとめる。
- ・調べた内容をWEB共有アプリでクラス全体に共有し、意見を交換する。

【成果】

- ・児童が身の回りのものを観察し、目的意識をもって調べる力を身につけた。
- ・WEB共有アプリを活用することで、クラス全体で多様な事例を共有し、学びを深めることができた。
- ・友達が見つけた「あなの役割」に触れることで、新たな発見や気づきが生まれた。

【課題】

- ・低学年の児童にとって、インターネット上の情報の信頼性を判断することが難しいため、適切なサポートが必要である。
- ・日常的にICTを活用する機会を増やし、スムーズに記録・発信できる環境をつくる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

つくば市立研究学園小学校

【取組内容③B】 GIGA端末で育む！低学年の自己調整型家庭学習

第2学年 家庭学習の実践

すいすい学習
3組

ドリルソフト でかけ算の問題で25問連

👍

ドリルソフト を、いつもの二倍やりました。

😮

ドリルソフト と、きんとれをやった。

👍

ドリルソフト と、◎◎ をやった

👍

いばらぎけんのことをしらべました。

❤️

ならったかん字をつかって日記を書きまし

👍

ドリルソフト をしました。

【がんばったこと】
①かん字をおぼえること
②かさこじぞうでじいさまとばあさまが
どんな気持ちなのかを考えること
③字をきれいに書くこと

❤️

いえをつくりました

❤️

学修支援ソフトで家をつくりました

いばらぎけんのことをしらべました。

ならったかん字をつかって日記を書きまし

👍

ドリルソフト をしました。

【活用方法】

- ・実施日を決め、授業支援アプリ（Microsoft Teams等）の投稿機能を活用し、家庭学習の振り返りを行う。
- ・振り返りの記述や写真・動画の添付で、学習の様子を可視化し、共有する。

【成果】

- ・教師は児童の達成度や理解度、つまずきや気付きなどを自由な時間で確認でき、適切な個別指導が可能となった。
- ・児童は学習の振り返りを通して、課題の設定や情報整理を行い、自己調整力を高めた。
- ・お互いの家庭学習の様子を見合い、コメントし合うことで、新たな視点や学習意欲を高めた。
- ・さまざまな学習内容やアウトプットを一か所に集約できるため、学習履歴を振り返りやすくなった。

【課題】

- ・家庭学習のメリットや活用方法を伝え、保護者と連携することが重要である。
- ・低学年からICTを活用した学習習慣を身につけ、高学年での自主学習につなげさせる。
- ・児童が自ら学習計画を立てられるよう、継続的な指導とフィードバックを行う。